

(様式 8)

(処分業者用)

令和 0 7 年 7 月 1 0 日

長野県知事 様

令和 0 6 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和 0 6 年度から令和 0 7 年度		
会 社 名	株式会社フロンティア・スピリット E・P・S		
住 所	〒399-0721 塩尻市大字金井 7 3 1 番地 3		
代 表 者 名	代表取締役 横 澤 英 樹		
区 分	中間処理 ・ 最終処分		
許 可 番 号	2 0 2 4 1 1 7 1 5 3		
処 理 施 設 所 在 地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所 在 地	
	(株)フロンティア・スピリット E・P・S	塩尻市大字金井 7 2 9 番地	
担 当 部 署	環境事業本部 環境部		
担 当 者 名	長橋 昭晴		
連 絡 先	T E L	0 2 6 3 - 5 6 - 2 2 8 0	
	F A X	0 2 6 3 - 5 6 - 2 2 9 2	
	電子メールアドレス	eps@po.mcci.or.jp	

1 目標達成状況

* 当年度目標値は、当年度実践計画書への記載数字を記入する。

* 当年度実績値は、計画期間における目標値に対する実績値を記入する。

(1) リサイクル率実績 (中間処理の場合) (%)

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和 06 年度 目標値	令和 06 年度 実績値	令和 05 年度 実績値	令和 04 年度 実績値
廃プラスチック	9 0	8 5	9 5	9 3
紙くず	9 0	6 8	9 5	8 8
繊維くず	9 0	3 6	9 1	8 1

(2) 再生利用実績 (中間処理業者の場合)

(t)

廃棄物の種類	当年度目標値 及び実績値		過年度実績値		用 途
	令和 06 年度 目標値	令和 06 年度 実績値	令和 05 年度 実績値	令和 04 年度 実績値	
廃プラスチック	2, 0 0 0	1, 8 6 0	1, 9 5 0	2, 3 0 0	固形燃料
紙くず	6 0 0	5 6 0	6 7 0	6 3 0	固形燃料
繊維くず	4 0 0	2 7 0	3 5 0	4 1 0	固形燃料

(3) 最終処分量実績

(t)

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和 06 年度 目標値	令和 06 年度 実績値	令和 05 年度 実績値	令和 04 年度 実績値
ガラスくず、コンクリートく ず及び陶磁器くず	3 0 0	3 4 0	3 0 0	3 1 0
廃プラスチック	5	2	4	2

2 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開実績

自社グループのホームページ上や、環境報告書に許可情報、処理情報、処理施設に係る廃棄物の処理フロー等、幅広く情報を開示しています。

3 産業廃棄物処理施設 (中間処理施設等・最終処分場) の地域への公開実績

施設の名称	施設公開状況			
	日 時	対象者	人数	内 容
(株)フロンティア・スピリットE・P・S	R. 06. 6. 2	塩尻市内 各区	2 0 名	春の全市一斉清掃時の土砂受入等
(株)フロンティア・スピリットE・P・S	R. 06. 11. 10	塩尻市内 各区	2 0 名	秋の全市一斉清掃時の土砂受入等

4 中間処理・最終処分を委託した処理業者（施設）の現地確認実績（中間処理業者）

区 分	廃棄物の種類	現地確認結果（確認回数、確認日、確認状況等）
中間処理場	木くず	現地確認は令和06年12月9日に実施、適正に処理が行われている事を確認しました。
最終処分場	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	現地確認は令和06年12月10日に実施、適正に処理が行われている事を確認しました。

5 従業員教育（研修）実績

実施月日	対象者	実施内容
令和6年 6月20日 令和6年10月17日	全社員	グループ全社員対象の春秋の安全大会時に、当グループISO14001の取組内容を中心とした環境教育を実施。
令和6年 9月 2日	産廃事業部（工場）、事務所	緊急事態への対応訓練（消火訓練）

6 排出事業者への協力要請実績

処理確認の為、工場見学に訪れる不特定多数の排出事業者様に対し、弊社リサイクル処理の説明とともに、廃棄物運搬・搬入時の荷姿・性状に関して必要に応じて協力要請を行いました。
--

7 リサイクル技術向上に向けた取組み実績

R P Fの発熱量、灰分、塩素含有量等、定期的に製品の品質分析を実施して、品質の向上と管理を実践しています。
--

8 不法投棄・不適正処理を発見した場合の協力実績

全社員にISO14001の一環として、環境行動認識の社員教育を実施し、不適正処理に対する注意を呼びかけたが、今年度期間中の不法投棄、不適正処理の通報実績はなかった。広く一般顧客から不法投棄廃棄物の処分について問合せを受けた場合は、適正に処分されるように情報提供、アドバイスを適宜行いました。

9 その他独自に取り組んだ事項についての実績

※環境認証制度※の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

I S O 1 4 0 0 1 認証取得、電子マニフェスト（JW、e-riverse）導入済みです。
I S O 14001のマネジメントプログラムに従い、月に3回工場周辺の清掃活動を実施しました。恒例の環境美化運動（ごみゼロ運動）を令和06年10月25日（金）の年1回
当社処理施設周辺を全社員及びグループ企業社員を含めて実施しました。11/10（日）には、地元金井区と合同でのクリーン塩尻の活動に、協賛・参加とさせて頂きました。

*環境 ISO 14001、エコアクション 21 等